



～もっと地域と もっと地域へ～

かがやくえがお

【学校教育目標】夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り拓く児童の育成

第8号

令和8年 5月27日
長崎市立小島小学校
校長 桐山 充晴

「最後まで 一人一人がかがやく 笑顔の運動会」

日曜日（24日）に実施した運動会には、多くの方の御参観をいただき、誠にありがとうございました。数日前までは天気予報が不安定で、延期になるのではないかと心配していましたが、当日は太陽も顔を出し、青空が見える中で実施することができました。開会式後の力みなぎる応援合戦からスタートし、ずっと目が離せない熱戦が繰り広げられました。開会式で子供たちをお願いした「本気」で頑張ること。まさに「本気」の向こうにある「楽しさ」を実感し、輝く笑顔があふれる運動会だったと感じています。



一生懸命に頑張った子供たちは、どの子も「楽しい」運動会だったのではないのでしょうか。「楽しい」と思うのは、「一生懸命に自分の体を動かしたときに感じる」ものです。また、「楽しい」の内容は、「勝ってうれしい」だけではありません。「負けて悔しい」も含まれます。一生懸命にやらない人に勝ってもうれしくありません。一生懸命に頑張っている仲間に勝つからうれしいのです。一生懸命に取り組まなかったら負けても悔しくありません。一生懸命に取り組んだからこそ悔しいのです。

勝負事ですから、どちらかが勝ちどちらかが負けます。どちらも一生懸命に取り組んでいたのなら、どちらであれ、清々しい気分になったはずです。

練習以上の力を発揮する子供たちに、私たち教職員もうれしさと感動で満たされ一日でした。きっと、保護者の皆様も同じ思いで見てくださったと思っています。さらに、御来場いただいた御家庭や地域の皆様からも、大きな声援をいただき、子供たちは、さぞかしうれしかったことでしょう。みんないつも以上に頑張ったに違いありません。

最後になりましたが、父母と教師の会役員の皆様には、4月の段階から運動会に向けた準備に取り組んでいただきました。また、当日も運営が滞りなく行われるよう、様々な場面において御協力いただき、ありがとうございました。また、運動会終了後には、多くの保護者の皆様が片付けの手伝いをしてくださいました。学校と保護者が一体となって作り上げた運動会でした。大変感謝しております。ありがとうございました。これからもあたたかい御支援・御協力のほど、よろしくお願いいたします。



最後になりましたが、父母と教師の会役員の皆様には、4月の段階から運動会に向けた準備に取り組んでいただきました。また、当日も運営が滞りなく行われるよう、様々な場面において御協力いただき、ありがとうございました。また、運動会終了後には、多くの保護者の皆様が片付けの手伝いをしてくださいました。学校と保護者が一体となって作り上げた運動会でした。大変感謝しております。ありがとうございました。これからもあたたかい御支援・御協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後の運動会

何事においても、最初と最後は印象に残ることが多いと思います。当然ながら、運動会に限らず、1年生にとっては「小学校で初めての〇〇」となり、6年生にとっては「小学生生活最後の〇〇」となります。いずれにしても、どちらも1回きりしかありません。6年間の集大成として臨んだ「最後の運動会」はいかがだったのでしょうか。6年間の成長はめざましいものがあります。この運動会を境に、今までよりも一段と学級の和が高まったことだろうと感じています。

さらに、「小島小のリーダーとして小学校最後の運動会を絶対に成功させたい」という強い思いを感じることができ、その決意は係活動でも発揮され、準備や運営においてもリーダーとしてふさわしい活動ぶりが目立っていました。その姿勢や思いはしっかりと次の学年へと受け継がれていくと思います。

どの学年においても次のステップに向けて、一步前進する時期に差し掛かっています。

「好機逸すべからず」でしっかりとサポートしていきます。

運動会を終えて

今年の運動会を振り返って、私が一番感じたのは、子供たちの健気（けなげ）さです。いつも思うことですが、運動会は、運動が苦手な子供にとっては、なかなか気持ちが前向きになれないところがあります。そのような子供は、練習段階から、複雑な思いで練習に参加しています。中には、休みたいとさえ思っている子供もいます。心と体は表裏一体なので、気持ちが沈んでいると、本当に体の調子が悪くなるのです。

また、本校の場合、本番のグラウンドでは当日しかできないという厳しい状況です。それでも、運動会に参加した子供たちは、みな、頑張って競技に取り組みました。一生懸命頑張る姿に、小島小の子供たちの健気さが表れていたと思います。どの学年の、どの競技においても、全員の子供たちが最後まであきらめずに、全力で頑張っていました。

徒競走では一人一人が自分のもてる力を発揮し、全力でゴールを目指して走る姿がありました。団体競技では、ペア学年で心をついに力を合わせ、楽しみながら競技に取り組みました。リレーでは、チームのために懸命にバトンをつなぐ姿が輝いていました。たとえ、1着にならないと分かっているにもかかわらず、最後までしっかりと走りきりました。たとえ、最下位でも、カッコよく走りきりました。ほんとに素晴らしい子供たちだと思います。

応援合戦では、応援団が中心となり全校を盛り上げ、お互いの組の健闘を誓い合う姿が素敵でした。特に応援団の子供たちは、休み時間返上で練習に励んだ成果を出し、一糸乱れぬ堂々とした応援を披露していました。

学校行事の指導においては、めあてをもつこと、振り返りをしっかりと行うことを大切にしています。一人一人の頑張りだけでなく、学級や学年の頑張りを価値付け、共有することで、自分たちの成長を実感し、自尊感情の向上につながるようにしています。ぜひ御家庭でも、お子さんのこれまでの頑張りを認め、次の活動への意欲につながるようお声かけいただけると幸いです。

